



# もがみ 仕事の魅力



2022  
Vol. 14  
12月  
通信

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です

## 高校生ビジネスプランコンテスト



### 12

月8日、高校生が最上地域の課題解決に向けたビジネスプランを発表する「令和4年度もがみビジネスチャレンジ 高校生ビジネスプランコンテスト」を開催し、7チーム計19名の生徒から参加いただきました。

4名の審査員を前に、緊張しながらも自分たちの考えや想いを一生懸命伝えていました。審査員からは「相手を納得させるためには、もう少し詳しく説明したほうがいい。」「ストーリーがあって良かった。」等の意見や感想があり、提案のブラッシュアップに向け、熱心に耳を傾ける姿が見られました。

表彰式では、最上総合支庁に加え、協賛いただいた新庄市、新庄信用金庫、新庄商工会議所、山形航空電子(株)、(株)JPD、(株)アイオイ、(株)ユニバーサルツールから参加者に賞品が授与されました。

高校生にとって、審査員の鋭い指摘や熱い激励、他校の生徒の発表を聞いたことは、大きな刺激になったようです。

今後も関係機関と連携し、高校生の活動を応援していきます。

### 審査員

- ★杉本 俊之 氏 / 山形大学 国際事業化研究センター 副センター長
- ★伊藤 洋一 氏 / 新庄市 商工観光課  
企業立地・商工振興室室長
- ★長谷川 雅幸 氏 / 新庄信用金庫 本店 次長
- ★梅津 茂裕 氏 / 山形県企業振興公社  
地域コーディネーター



杉本審査員長から  
講評いただきました



### 発表の様子



テーマ

#### 『かねやまの』

(金山町産のピーナッツを使ってチップスを作る)  
ピーナッツを使ったチップスを作ることで、金山町の特産品を知ってもらい、金山町が抱える「農家の担い手不足問題」や、「余っている畑の活用方法」等を解決する。



新庄南高: 二戸・井上・奥山チーム

テーマ

#### 『Convey with おにぎり』

(最上伝承野菜を使ったおにぎりを販売する)

高校生などの若い世代が知らない最上地域の伝承野菜を使ってテイクアウト専門店でおにぎりを販売する。地域の人たちにも親しんでもらえるおにぎりを作っていく。



新庄南高: 沼澤・伊藤・田中チーム

テーマ

#### 『BORT SPOP 舟でエンジョイ!!!』

(戸沢村の人口減少、少子高齢化を解決する)

戸沢村の観光資源である舟下りを若者の間で話題になるアレンジをして、地域の活性化を図る。花火を上げたり、舟の改造など、新たなスタイルのレジャーを提案し、地域の魅力を増やす。



新庄東高: 鈴木・寛・岸チーム

テーマ

#### 『good environment』

(真室川町の伝承野菜を使った商品開発)

長期休み期間中の大学生や専門学生から最上伝承野菜を使ったお土産として買ってもらえる商品を開発する。開発の様子は報道機関で取り上げてもらい興味を持ってくれる人を増やす。



新庄東高: 奥山・高橋・佐藤チーム

## ★PRESENTATION★

(当日発表順に掲載)

テーマ

#### 『高校生の食』

(高校生の栄養の偏りを解決する)

高校生は太ることや肌荒れ、むくみを気にしながら夜食に食べるもので、多いのは「麺類」や「お菓子」。夜食として食べても太りにくく、ヘルシーなこんにゃくを使ったそばを作る。



新庄南高: 田口・伊藤・羽賀チーム

テーマ

#### 『子どもから大人まで楽しめる施設』

(鮭川村エコパークと共同でイベント開催)

アウトドア需要が増加している今、鮭川村エコパークに家族連れが来てくれるようにグランピングテントの設置や期間限定でイルミネーションを行い、子供から大人まで幅広い年齢層の獲得を図る。



新庄南高: 齋藤・小笠原チーム

テーマ

#### 『All Possibilities』

(キャンプで金山住宅DIY!)

初めて高速道路が繋がり、気軽に金山町へ通えるようになることから、伝統の「金山住宅」をキャンプしながら自分たちで建てるプラン。街並み(景観)づくりに貢献し、金山大工の技術継承ができる。



新庄東高: 太田屋・片山・中島チーム

【問合せ先】山形県最上総合支庁 地域産業経済課 産業振興担当  
☎0233-29-1309 ㊟0233-23-2628 発行日:令和4年 12 月